

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-1	経営戦略研究科の理念		変更の有無
	<p>本博士課程の理念・目的は、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を推進することです。これを実現するために、企業や行政機関との連携を重要視し、理論的研究の水準を高めると共に、実証性の高い研究が可能になる基盤を確立します。その結果として、実践的課題と理論的課題を融合させることで高い研究成果を生み出すことができます。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
A-2	経営戦略研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	経営戦略研究科の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>経営戦略研究科は、専門職学位課程としてMBA教育を行う経営戦略専攻と職業会計人養成のための会計専門職専攻を擁し、実践的な実務教育により経営及び会計の高度専門職業人を養成することを目的としている。各々独立した専攻でありながら、同研究科内で補完し、二専攻による優れた教育効果を学生に与えることを目指している。また、博士課程として先端マネジメント専攻を擁し、経営・会計の理論研究と実践的応用研究の推進及びこれを担う研究者や専門家等の養成を目的としている。</p> <p>博士課程先端マネジメント専攻は、先端的なマネジメントの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を推進することを目的としている。</p> <p>本博士課程において主に養成する人材像は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業経営者・企業幹部や自治体等行政機関の上級管理職となる者 ②民間もしくは公設の研究所などの研究員 ③高度なコンサルティング能力を持つ専門家 ④専門職大学院等において教育に従事する研究者教員もしくは実務家教員 	<p>経営戦略研究科博士課程先端マネジメント専攻は、社会との関係を重要視しながら、応用性の高い研究に積極的に取り組む博士課程後期課程です。研究分野の中心は経営学と会計学です。研究の対象としては、企業や地方自治体などの行政機関も含めたマネジメントに関わる問題を幅広く扱い、実践の中から得られる様々な知見を理論的に解明するとともにそれらの知識の応用性を高めることに力点が置かれます。</p> <p>本博士課程の理念・目的は、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を推進することです。これを実現するために、企業や行政機関との連携を重要視し、理論的研究の水準を高めると共に、実証性の高い研究が可能になる基盤を確立します。その結果として、実践的課題と理論的課題を融合させることで高い研究成果を生み出すことができます。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	めざす学生像		変更の有無
	<p>本博士課程において主に養成する人材像は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業経営者・企業幹部や自治体等行政機関の上級管理職となる者 ②民間もしくは公設の研究所などの研究員 ③高度なコンサルティング能力を持つ専門家 ④専門職大学院等において教育に従事する研究者教員もしくは実務家教員 		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)		変更の有無
	<p>「先端マネジメント専攻」では、 企業経営者・企業幹部や自治体等行政機関の上級管理職となる者 民間もしくは公設の研究所などの研究員 高度なコンサルティング能力を持つ専門家 専門職大学院等において教育に従事する研究者教員もしくは実務家教員 などの養成を目指しています。そこで、マネジメントの問題を解決することを目標としてアカデミックな研究と実践性のある応用研究の双方を推進する能力を持ち、高い研究成果を示した学生に「博士(先端マネジメント)」の学位を与えます。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-3	教育研究目標		変更の有無
	目標1 (狙い・内容) (タイトル)博士課程教育の着実な推進 昨今のオーバードクター問題の悪化等の社会経済情勢に鑑み、最終学歴の究極形である博士号を、内容の伴ったものとして輩出する。具体的には、博士と名乗るに相応しい学識を備えた人材を厳しく陶冶し、毎年、博士の学位を名乗るにふさわしい人物のみに学位を授与することを通じ、学位を与えられた者の活躍を図るとともに、本学の教育研究の充実、さらには本学の学問的地位の向上を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-3. 「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認			チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。		<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)	
	検証手続き	毎年6月の研究科委員会において決裁・承認している。	
	決定・判断時期	毎年6月	
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録	
検証プロセスを適切に機能させているか	<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない		
	検証方法(指標、測定方法など)	今後検討する。	
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし	
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり(内容: 教育目的を学生により周知する方法について検討を行う。また目標実現に向けた具体的な施策について検討する。) <input type="checkbox"/> 成果あり	
検証エビデンス	博士課程執行部会議事録		
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()		

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-4	教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)	変更の有無
	<p>3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び総合学力認定試験に合格することを修了要件としています。また、研究指導教員の判断と学生の研究計画に応じて、授業科目の「先端マネジメント特殊研究」を受講することとしています。以下にその研究指導の過程を示します。</p> <p>(1)1年次 「博士論文研究準備計画書」の作成、該当分野の基礎文献研究、主題に関わる研究分野の指導を受ける。また、関係分野の優れた内外の学術文献を多量に講読する。</p> <p>(2)2年次 博士論文の準備を推進するため、研究の目的・対象・方法論を明確にする指導を受け、学問的な研究の指導と共に、マネジメントの実際の理解を深め、実証的な研究を通じてそれを理論化する研究指導を受ける。「博士論文研究中間報告書」を提出し、2年次の終了時には、「総合学力認定試験」を受験する。</p> <p>(3)3年次 博士論文の完成に向けて、論文の構成・体系等枠組みの検討、実証性の確認、導かれる結論の検証など、最終的に論文を完成させるための研究指導を受ける。最終的な研究成果を公開形式で報告する。「博士論文」を提出する。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

A-4. 教育課程の編成・実施方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	毎年6月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年6月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない	
	検証方法(指標、測定方法など)	授業評価アンケートの結果等に基づいて現状を把握の上、研究科委員会において課題を整理している。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり (内容:教育課程の編成・実施方針に基づいて適切な研究指導を行っている。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり (内容:) <input type="checkbox"/> 成果あり
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (研究科 Web サイト)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>経営戦略研究科博士課程先端マネジメント専攻は、社会との関係を重要視しながら、応用性の高い研究にも積極的に取り組み、大学教員の養成に主眼をおかない後期課程です。学問分野の中心は経営学です。研究の対象としては、企業や公的機関も含めたマネジメントに関わる問題を幅広く扱い、実践の中から得られる様々な知見を理論的に解明するとともにそれらの知識の応用性を高めることに力点が置かれます。</p> <p>したがって、本博士課程の理念・目的は、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を推進することです。これを実現するために、企業や公的機関との連携を重要視し、理論的研究の水準を高めると共に、実証性の高い研究が可能になる基盤を確立します。その結果として、実践的課題と理論的課題を融合させることで高い研究成果を望むことができると考えています。</p> <p>この入学試験では、そうした目標等に共感し適合する者を選抜するために、その学力や達成意欲等を総合的に選考します。</p>	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	毎年6月の研究科委員会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年6月
	検証エビデンス	研究科委員会・議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	志願者情報・入試結果等のデータを基にして現状を把握の上、研究科委員会において課題を整理する。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり(内容:学生の受け入れ方針に基づいて、学生を計画的に受け入れられるための施策を検討する。) <input type="checkbox"/> 成果あり
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(入試要項)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
	学生が博士学位取得に向けて研究に専念できるよう、指導教員を中心に学生の就学支援、生活支援、進路支援に関する相談・助言を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
修学支援	<p>学費を期限までに納入できない学生は、延納または分納することができる。支給奨学金には大学が支給している学費全額相当分を支給するベーズ特別支給奨学金や学費半額相当分を支給するベーズ第1種支給奨学金、留学生を対象に授業料の半額または35%相当分を支給する留学生奨学金がある。貸与奨学金には日本学生支援機構の奨学金制度がある。また、家計事情の急変に対応する緊急時貸与奨学金制度も整えており、経済的支援を求める学生に対して必要な措置を講じている。</p> <p>学業に関しては主に指導教員が相談対応を行っている。指導教員以外の教員についてもメールアドレス(専任・任期制教員)を公開してメール相談に応じている。事務手続きについてスタッフがカウンターで対面対応に加え、メールでも対応している。大学のカウンセリングルームでの悩み事相談も可能である。留年者、休・退学者及び満期退学者で博士学位申請を行う予定の者については、担当者または指導教員から適宜学生本人に連絡・確認を行い、必要に応じて助言等を行っている。障がい学生に対しては、総合支援センターと連携し、授業や試験に際して個別的履修指導や教室設備をし、授業支援については学内外のボランティアの紹介をし、進路・就職援助も行う体制が整っている。</p> <p>研究報告を行う場合の学会への旅費補助、海外調査等への旅費補助、コピー代補助、研究科発行紀要への投稿権付与、大学図書館購入図書選定にあたっての希望聴取、アンケート調査等への支援を行っている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
生活支援	外国人留学生へのサポートは指導教員だけではなく、研究科の教学補佐やスタッフ、留学生対応の専門部局である国際教育・協力センターが連携して行っている。障がいのある学生へのサポートは主に総合支援センターがコーディネートを行うこととなっている。主に指導教員が相談対応を行っているがその他の教員についてもメールアドレス(専任・任期制教員)を公開してメール相談に応じている。またキャンパス内にて起こりうる問題に対して意見・提案を述べる事ができるC.O.D委員会や、キャンパス・ハラスメントを防止するための組織もあり多面的に学生の生活支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
進路支援	指導教員が学生の進路支援について相談・助言を行っている。また学位を取得した後も研究科研究員として研究を補助する制度を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	経営戦略研究科長	作成部局	経営戦略研究科
-----	----------	------	---------

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	<p>方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。</p> <p>(下記のことが明らかであることに留意する。)</p> <p><修学支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:研究科長)
	検証手続き	執行部会、図書資料委員会での審議を経て、毎年11月の教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年11月
	検証エビデンス	教授会 議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input type="checkbox"/> 1. 機能させている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	学生のグループインタビュー結果等に基づいて、現状を把握の上、執行部会等において課題を整理する。
	成果	<input type="checkbox"/> 成果あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input checked="" type="checkbox"/> 計画あり(内容:学生の実際の要望などに応じたより良い学生支援を行えるよう、具体的な施策について検討する。) <input type="checkbox"/> 成果あり
検証エビデンス	教授会議事録	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

